

11 試 験 研 究

林業試験場試験研究課題

試 験 研 究 項 目	研究期間	研 究 内 容	担当研究室
1 健全で豊かな森林づくりに関する研究			
(1) ハイブリッド無花粉スギの創出	H24～R3	耐虫性および耐雪性品種などに無花粉形質を取り込んだ付加価値の高いスギ造林品種を創出する。	森林管理
(2) 山地災害リスクを回避・軽減する現地判定技術の開発	H28～R2	山地災害の危険度把握技術及び危険度に対応した集材作業システムの選択技術を開発する。	森林管理
(3) 初期成長の優れたコンテナ苗生産技術及び植栽実証試験	H27-R1	コンテナ苗について、初期成長に優れた苗の生産技術の確立を行うとともに、現地に植栽し、成長・活着率等の評価を行う。	森林管理
(4) 高齢広葉樹林（ナラ類、シイ・カシ類）の萌芽更新技術の確立	H28-R2	高齢・大径化したナラ類を主とする広葉樹林の萌芽力試験等を行い、広葉樹林を適切に循環利用する萌芽更新技術を確立する。	森林管理
(5) 早生広葉樹等の育苗及び植栽技術に係る実証試験	H29～R3	早生樹を利用した短伐期林業の技術体系化に必要な育苗・育林技術開発、及び有用広葉樹の育林技術を確立する。	森林管理
(6) 樹木根系を考慮した防災林配置技術の開発	H30～R4	森林立地環境と樹木根系の分布特性を明らかにし、立地環境に応じた防災林配置技術を開発する。	森林管理
(5) 鳥取県でのカラマツの育苗・植栽技術の確立	R1～R4	カラマツを鳥取県の新たな造林樹種にするため、育苗試験、植栽適地調査、シカ食害実態調査及び忌避剤効果検証試験を行う。	森林管理
(6) 夏季の下刈り作業における労働環境の改善	R1～R2	夏季の過酷な下刈り作業の労働環境改善のため、ヘルメットのクーリング装置及び給水装置の試作を行い、作業効率・労働負荷の改善を図る	森林管理
(7) 小型ドローンレーザーによる林分解析技術の確立	R1～R3	レーザー計測装置を搭載できるドローンの試作・飛行試験を行い、俯瞰的な視点で効率的に精度良く計測できる方法を確立する。	森林管理
2 里山とともに生きる営みを推進する研究			

試験研究項目	研究期間	研究内容	担当研究室
<p>3 県産材の需要拡大に関する研究</p> <p>(1) とっとりの新しいCLTの製造・利用技術の確立</p> <p>(2) 防火・防炎性を付与したLVL内装材の開発</p> <p>(3) 住宅内装製品への県内産広葉樹材の活用に関する研究</p> <p>(4) スギ材の効率的な葉枯らし乾燥システムの開発</p> <p>(5) 保存処理CLTの製造技術の確立</p> <p>(6) スギ幅広板材の反り抑制に効果的な加工技術の提案</p>	<p>R1～R3</p> <p>R1～R3</p> <p>H29～R1</p> <p>H29～R1</p> <p>H29～R1</p> <p>R1</p>	<p>スギ厚板を原材料としたCLT（直交集成板）の製造技術を確立するとともに、製品の構造性能を明らかにすることで建築での利用方法を提案する。</p> <p>LVL（単板積層材）内装材に適した防火・防炎性を付与するために、薬剤の種類・処理方法等を検討し、製造技術を確立する。</p> <p>県内産広葉樹材を内装製品（フローリング、壁板等）として活用するため、材質に対応した加工技術を改良・開発する。</p> <p>鳥取県林業試験場が改良・開発した「応力波伝搬時間」の計測技術を応用した葉枯らし乾燥期間の調査及び簡易な計測手法の開発を行う。</p> <p>CLT（直交集成板）を用いた建築物の耐久性を向上させるため、防腐防蟻薬剤の加圧注入処理によって腐朽やシロアリに対する抵抗力を高めたCLTの製造技術を確立する。</p> <p>スギ幅広板（カウンター用天板）反りを抑制するための加工方法を提案する。</p>	<p>木材利用</p> <p>木材利用</p> <p>木材利用</p> <p>木材利用</p> <p>木材利用</p> <p>木材利用</p>